



1976



KMS コアカリキュラム

2002年4月 開始



本学の教育理念と教育目的・目標

〈建学の精神〉 『敬天愛人』 『真理探求』

〈教育方針〉 6年一貫医学教育 温故知新 体験学習 自学自習 チャレンジ精神

KMS pursues "Medicine based on science, humanity and oriental heart" in the 21st century.

(KMSは21世紀に、科学、人間性および東洋の心に基づいた医学を希求する人材を育成する。)

オリエンテーション, KMS コアカリ概要, ECE・EME 情報科学演習

- A 医療と医学の基本理念 (1~6年)**
- 1 医の原則 (1, 2年)
 - (1) 医の倫理と生命倫理
 - (2) 患者の意思と権利・家族の意向・心情
 - (3) 医師の義務と裁量権
 - (4) インフォームド・コンセント
 - (5) 医師の生活道徳および規律
 - (6) 医師の常識と良識 (すぐれた医師の必要条件)
 - (7) 医学史 (西洋, 東洋, 日本)
 - 2 医学・医療における安全性への配慮と危機管理 (救急医療・医療事故) (3, 4年)
 - (1) 安全性の確保とミス・ニアミスの取扱い
 - (2) 危機管理と緊急処置 (医療管理学)
 - (3) ガイドライン・マニュアルの有効性とその限界・欠点
 - (4) 機械化・自動化の長所と短所
 - (5) 治療薬等取扱い上の注意点
 - (6) 研究・診療における事故防止
 - (7) 教育・研究・診療における責任の所在
 - (8) 院内感染・医原病への注意
 - 3 コミュニケーションとチーム医療 (1, 4年)
 - (1) コミュニケーション
 - (2) 患者およびその家族と医師との信頼関係
 - (3) チーム医療 (医師間および医師とコメディカルとの関係) の重要性と問題点
 - (4) 他院への紹介, 依頼, 転院
 - (5) 医療情報とその対応, メディアへの対応
 - 4 課題探求・解決と論理的思考 (1年)
 - (1) 課題探求・解決能力 (自学自習の習慣と思考法)
 - (2) 論理的思考と表現能力, プレゼンテーションの方法
 - (3) 独創的思考とコアカリの関係
 - (4) 生涯学習への習慣
 - (5) 医療の評価 (内部評価, 外部評価, 医事訴訟)
 - (6) 医療の発展のための科学の進歩と必要性

- B 医学・医療と社会 (1, 2, 4, 6年)**
- (1) 社会・環境と健康・疾病
 - (2) 疫学と予防医学 (予防ワクチン・他)
 - (3) 生活習慣と疾病およびその予防
 - (4) 保健, 医療, 福祉と介護の制度
 - (5) 保健医療制度による医療の限界
 - (6) 診療情報とその守秘義務, 医事法規・他
 - (7) 臨床研究と医療
 - (8) 科学研究と医療
 - (9) 情報科学, 医療経済, 医療管理

- C 個体のライフサイクル (1~6年)**
- (1) 進化, 行動, 生態
 - (2) 受精, 受胎
 - (3) 分裂, 分化, 増殖
 - (4) 胎児の発育と発達
 - (5) 分娩 (出産)
 - (6) 生後の成長と発達
 - (7) 成人の生活と環境
 - (8) 加齢と老化
 - (9) 人の死
 - (10) 死と法

- D 全身におよぶ病態と診療 (2年)**
- (1) 感染症
 - (2) 免疫・アレルギー疾患
 - (3) 物理・化学的因子による疾患

- E 診療の基本とその科学的根拠 (1~6年)**
- 1 症候・病態とその科学的成立機序 (1, 2年) (3, 4年: PBL) (5, 6年: クラークシップ)

[ショック][発熱][けいれん][意識障害・失神][チアノーゼ][脱水][全身倦怠感][肥満・やせ][黄疸][発疹][貧血][出血傾向][リンパ節腫脹][浮腫][動悸][胸水][胸痛][呼吸困難][咳・痰][血痰・喀血][めまい][頭痛][運動麻痺・能力低下][腹痛][悪心・嘔吐][嚥下困難・障害][食思(欲)不振][便秘・下痢][吐血・下血][腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘍][タンパク尿][血尿][尿量・排尿の異常][月経異常][関節痛・関節腫脹][腰背部痛][顔面痛]他 合計62項目
 - 2 基本的診療知識とその科学的根拠 (1, 2年) (3, 4年) (5, 6年)
 1. 臨床検査 (院内検査; 外部委託と精度管理)
 2. 医用機器と人工臓器
 3. 放射線を用いる診断と治療
 4. 電磁波・核磁気共鳴を用いる診断と治療
 5. 超音波を用いる診断と治療
 6. 内視鏡を用いる診断と治療
 7. 食事と輸液療法
 8. 薬物治療の基本原則と薬剤処方入門
 9. 麻酔 (個人識別と前処置, 麻酔度, 呼吸および心機能管理)
 10. 輸血と移植 (血液型と組織適合性抗原)
 11. 外科的治療と周術期管理
 12. リハビリテーション
 13. 介護と在宅医療
 14. 緩和医療 (終末医療)
 15. 基本的診療における科学の役割と意義
 - 3 基本的診療技能と患者の心理 (1, 2年) (3, 4年) (5, 6年)
 1. 問題志向型システム
 2. 医療面接
 3. 診療記録
 4. 臨床判断
 5. 身体診療
 6. 基本的臨床手技とその科学的裏づけ
 7. 臨床診療における科学的思考法
 8. 診療技能と患者の信頼度
 - 4 教育・診療施設体験学習 I, II (1, 2年)
 1. 大学構内等ボランティア体験 (正規授業外: am8:00~8:40)
 2. 中央診療施設
 - (1) 検査部
 - (2) 手術部
 - (3) 放射線部
 - (4) 材料部
 - (5) 救急部
 - (6) 輸血部
 - (7) 集中治療部
 - (8) 周産母子センター
 - (9) リハビリテーション部
 - (10) 総合診療部
 3. 特殊診療施設
 - (1) 透析部
 - (2) 光学診療部
 4. 薬剤部
 5. 看護部
 6. 栄養管理室
 - 5 医学・医療体験実習 (1年)

画像解析

- F 医科学 (1~4年)**
- 1 個体の構成と機能 (1, 2年)
 - (1) 細胞の基本構成と機能, 細胞内小器官の分画法
 - (2) 細胞周期と増殖制御
 - (3) 組織・各臓器の構成, 構造, 機能と位置関係
 - (4) 個体の調節機構とホメオスタシス
 - (5) 栄養素と生体物質の代謝・生体エネルギー産生
 - (6) 生理活性物質と情報伝達制御
 - (7) 個体の発生・分化・アポトーシス
 - (8) 遺伝と遺伝子・染色体, 変異・淘汰・進化
 - (9) ES細胞と再生医学
 - (10) 生物の寿命・長寿
 - 2 個体の反応 (2, 3年)
 - (1) 生体と微生物・寄生虫
 - (2) 免疫と生体制御, 自己・非自己認識機構など
 - (3) 生体と放射線・電磁波・超音波
 - (4) 生体と薬物・薬剤・薬理
 - (5) ストレスと生体反応
 - 3 原因と病態 (1~4年)
 - (1) 遺伝子異常と疾患・発生発達異常
 - (2) 細胞障害・変性と細胞死 (組織および臓器死)
 - (3) 代謝障害・生体リズムや体内時計の乱れ
 - (4) 循環障害, 血液凝固・血管新生
 - (5) 炎症と創傷治癒・線維化
 - (6) 腫瘍・腫瘍免疫, 癌遺伝子, 癌抑制遺伝子
 - (7) 外因性障害・心因性障害と法医学
 - (8) 廃用萎縮とリハビリテーション
 - 4 先端医学と医療体験学習 (3年)
 - (1) 遺伝子医学と再生医学
 - (2) 脳神経科学, RI・トレーサー実験, 免疫療法
 - (3) IT・先端医学医療 (遠隔病理診断, 遠隔患者診断・他)
 - 5 医科学特論 (2~4年)

神経科学, 分子生物医学, 生理学, 医化学, 生化学, 免疫学, 遺伝子医学, 微生物学, 薬理学, 寄生虫学, 法医学, 地域医療学

作成: 高知医科大学 (Kochi Medical School)
モデル・コア・カリキュラム等検討委員会

事務連絡先: 医学部・病院事務部

学生・研究支援課教務担当

(TEL) 088-880-2262 (FAX) 088-880-2264

- G 医科学実習 (1~4年)**
- (1) マクロ解剖・マクロ病理実習
 - (2) 組織標本・病理組織標本実習
 - (3) 生理学・薬理学実習
 - (4) 分子生物医学・遺伝子医学・医科生化学実習
 - (5) 免疫学・微生物学・寄生虫学実習
 - (6) 法医学・衛生学実習・公衆衛生学フィールドワーク

- H 人体各器官の正常構造と機能, 病態, 診断, 治療 (1~4年)**
- (1) 血液・造血器・リンパ系
 - (2) 神経系
 - (3) 皮膚系
 - (4) 運動器 (筋・骨格) 系
 - (5) 循環器系
 - (6) 呼吸器系
 - (7) 消化器系
 - (8) 腎・尿路系 (体液・電解質バランスを含む)
 - (9) 生殖機能
 - (10) 妊娠と分娩
 - (11) 乳房
 - (12) 内分泌・栄養・代謝系
 - (13) 眼・視覚系
 - (14) 耳鼻・咽喉系
 - (15) 口腔系
 - (16) 精神系
 - (17) 幼児・小児の特性
 - (18) 男性・女性の特性 (gender medicine)
 - (19) 老年者の特性
 - (20) 心身のハンディキャップと医療
 - (21) 個体としての総合医学

OSCE・Step 1 試験

- i 臨床クラークシップ (5, 6年)**
- 1 全期間を通じて身につけるべき事項
 - (1) 診療の基本
 - (2) 身体診療
 - (3) 基本的臨床手技
 - 2 必修臨床実習

内科 (6週), 外科 (4週), 小児科, 産科婦人科, 麻酔科蘇生科, 高知医療センター (3週), 老年病科, 神経科精神科, 皮膚科, 放射線科, 整形外科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 脳神経外科, 泌尿器科 (2週), 検査部, 歯科口腔外科, 地域医療実習, プライマリケア実習 (1週)
 - 3 選択臨床実習

- J 履修した医学・医療の統合と将来の医学への展望 (6年)**
- 1 臨床医学総括講義
 - 2 統合医学 I, II
 - 3 Visual lecture

卒業認定試験 (6年)
Clinic (60%), Medical Science (30%), Culture (10%)